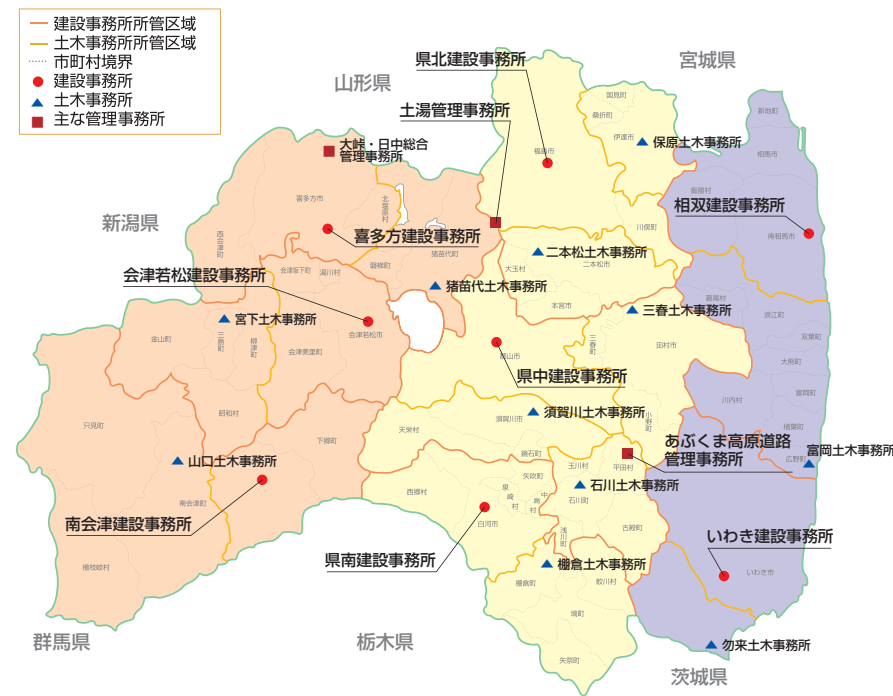


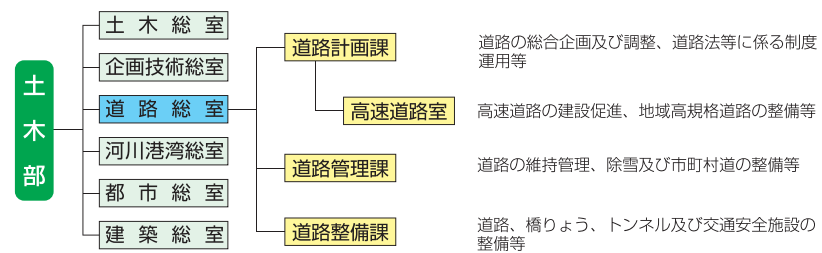
建設事務所等所管区域図



県庁各課の役割とお問い合わせ先

TEL 024-521-7469 E-mail: douro@pref.fukushima.jp

HP [道路総室](#) [検索](#)



各建設事務所へのお問い合わせ先

- 東北建設事務所……………TEL024-522-2116
HP [東北建設事務所](#) [検索](#)
- 県中建設事務所……………TEL024-935-1408
HP [県中建設事務所](#) [検索](#)
- 県南建設事務所……………TEL0248-23-1604
HP [県南建設事務所](#) [検索](#)
- 会津若松建設事務所……………TEL0242-29-5408
HP [会津若松建設事務所](#) [検索](#)
- 喜多方建設事務所……………TEL0241-24-3111
HP [喜多方建設事務所](#) [検索](#)
- 南会津建設事務所……………TEL0241-62-5322
HP [南会津建設事務所](#) [検索](#)
- 相双建設事務所……………TEL0244-26-1205
HP [相双建設事務所](#) [検索](#)
- いわき建設事務所……………TEL0246-24-6106
HP [いわき建設事務所](#) [検索](#)



県の鳥：キビタキ



県の木：ケヤキ



県の花：ネモトジャクナゲ

福島県の道路
2016



福島県の道路 2016





御挨拶

本県に甚大かつ凄惨な被害をもたらした東日本大震災から5年が経過し、今年は集中復興期間から復興・創生期間へとステージが移行する初年度となります。そうした中、昨年3月の常磐自動車道の全線開通に加え、公共土木施設の復旧や県の未来を創造する拠点施設整備など、県内各地で復興・再生に向けた公共インフラ整備が目に見える形となって現れてまいりました。

道路部門においては、新生ふくしまの実現に向けて、将来の県土を見据えて、「福島県復興計画（第3次）」、「ふくしま創生総合戦略」、「避難解除等区域復興再生計画」や「ふくしま道づくりプラン（復興計画対応版）」に基づき、縦横6本の連携軸や地域連携道路など県土の骨格をなす道路や復興を担う道路は計画的に、生活関連道路は地域の実情に応じて着実に整備を進め、地域の活力を高めていくことを基本方針として、事業を推進しております。

その中で、復旧・復興に関する県の事業としては、避難地域の復興と避難住民の帰還を支援するため、「ふくしま復興再生道路」として位置づけられた8路線について、最優先で整備に取り組んでおります。昨年6月に国道114号小綱木バイパスが、11月には国道288号船引バイパスが開通するなど、事業が着実に進捗しております。

国土交通省における事業としては、9月に会津縦貫北道路の湯川南IC～会津若松北IC間が開通し、直轄権限代行事業により整備を進めてきた区間が一連で通行可能となり、広域観光や産業振興など、会津地域の活性化に大きな影響を与えております。また、復興のリーディングプロジェクトである復興支援道路相馬福島道路

では、阿武隈東道路が今年度開通するのを皮切りに平成30年度までに相馬～霊山間が開通する見通しとなっており、被災地域の復興の加速化や広域的な交流の拡大が期待されております。

また、9月に発生した関東・東北豪雨では、南会津地域を始めとして、県内各所で甚大な被害に見舞われました。昨年未までに全ての被災箇所では災害査定を終えたところであり、県民の安全・安心確保のため、早期復旧に努めてまいります。

最後に、利用者の安全・安心を守るため、災害に強い道路ネットワークの構築やユニバーサルデザインに配慮した歩行空間の整備等を進めるとともに、構造物の長寿命化や除雪など計画的・戦略的な維持管理により、他の道路管理者と連携して、安全で円滑な交通の確保に努めてまいります。

本冊子は、本県の道路の実情を語るデータにより構成しております。

この冊子を通じて、県民の皆様をはじめ関係各位には、道路行政への一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年4月
福島県土木部次長（道路担当）



道路網

